



®環境省

エコアクション21

認証番号0006252

# 環境活動のまとめ

OSAKA PALCOOP ECO REPORT 2021

この報告書は2020年度の方針にそった  
主な環境活動についてまとめたものです



生活協同組合 おおさかパルコプ

# 「環境活動のまとめ」発行にあたって

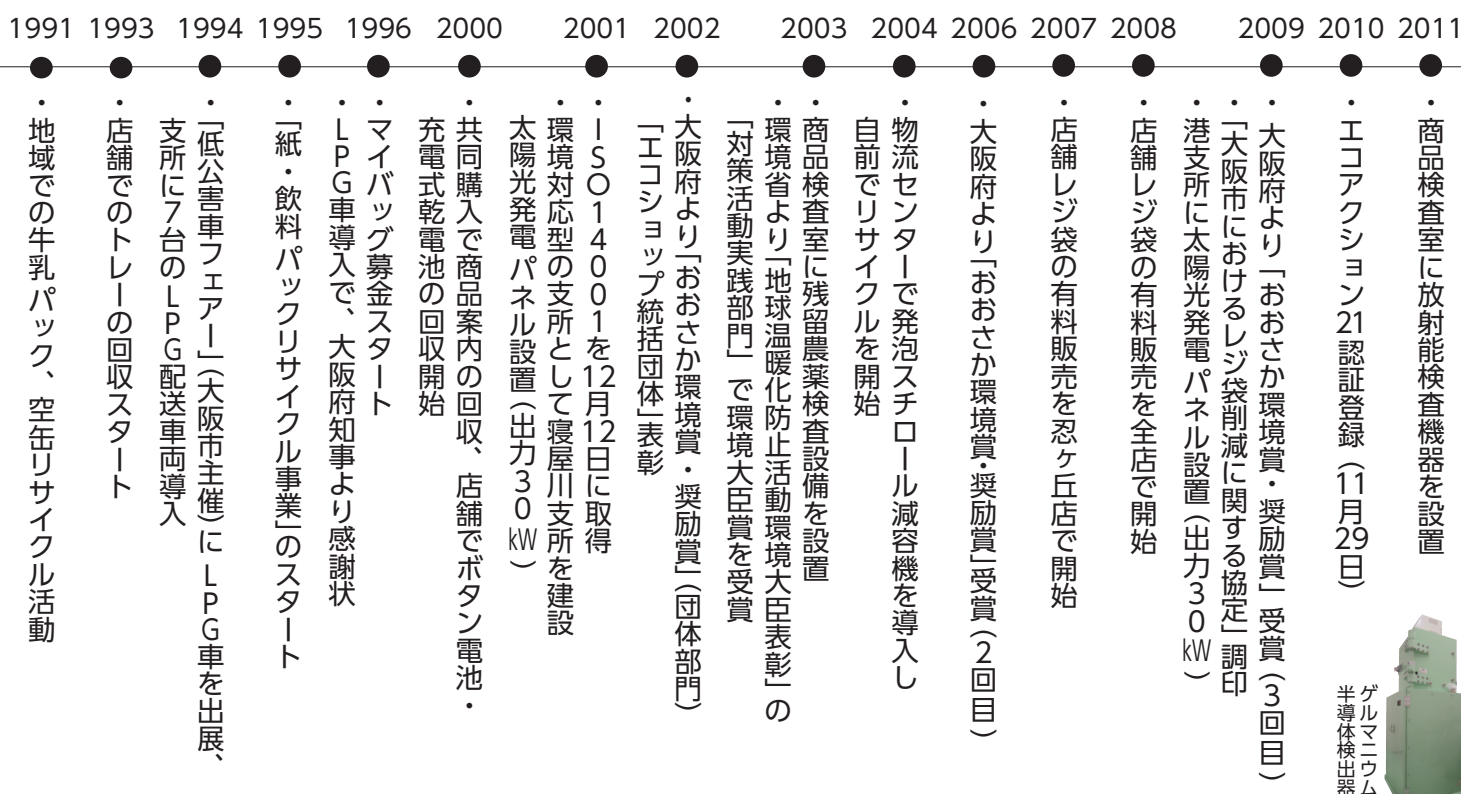
昨年、「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする<sup>(※)</sup>、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」との目標が政府から出されました。具体的実現する方法については、今後、国民の中で議論が交わされ、その総意のもと実現に向かうことを願っています。

※「排出を全体としてゼロ」とは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成することを意味しています。

わたし達の望む未来は、国民が気候変動問題や温室効果ガス削減の必要性を理解し、強く支持しています。2050年の電力は再生可能エネルギー等の低炭素電源がほとんどとなり、温室効果ガスの排出が大幅に削減され、消費者の環境意識を喚起するような技術開発が進み、環境配慮が企業への高い評価につながる社会となり、社会の仕組み全体が環境配慮型になっています。

そんな未来を次の世代につなげていけるように、組合員（消費者）と共に学び、環境へのとりくみを地道にすすめていきたいと考えています。

## これまでの主なあゆみ



# 「子どもたち・未来のために、美しい地球のために」

子どもたちに自然環境のすばらしさを伝えていくことは、大人としての課題です。  
未来を生きる子どもたちに美しい地球を渡せるよう、生協として地球温暖化防止の  
社会的責任を積極的に果たし、事業と活動をすすめていきましょう。

2021年5月

環境マネジメント推進委員会





# 環境マネジメントシステムを活用して 事業をすすめています

## 環境方針

### 基本理念

おおさかパルコープは、持続可能な循環型社会の実現を目指し、環境問題を重要な課題と位置付け、組合員とともに環境保全活動に積極的に取り組みます。

### 基本方針

おおさかパルコープは、組合員を対象とした食料品など生活関連の商品供給事業及び共済、福祉事業や旅行、チケット、暮らし関連などのサービス事業を行っています。こうした事業活動から発生する環境に大きな影響を及ぼす項目について、技術的かつ経済的に可能な範囲で環境目標、環境活動計画を定めて取り組み、環境負荷の軽減と汚染の予防、生物多様性の保全への配慮、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

1. 環境に配慮した商品やサービスの取扱いと普及をすすめます。
2. 地球温暖化防止のために、CO<sub>2</sub> 排出量削減に取り組みます。
  - ・積極的に省エネルギー機器導入に取り組みます。
  - ・電気、ガスの使用量削減に取り組みます。
  - ・配送効率や運転技術の向上、エコドライブの推進で車両燃料の削減に取り組みます。
3. 廃棄物の削減、リサイクルに取り組みます。
  - ・紙などの資源を効率的に使用し、使用量削減とリサイクルに取り組みます。
  - ・店舗では食品廃棄ロス基準を守り廃棄物の再生利用等に取り組みます。
  - ・組合員とともに、容器包装、商品案内チラシなどの回収リサイクルや、買い物袋持参に取り組みます。
4. 資源の有効活用、節水に取り組むとともに、グリーン購入に努めます。
5. 商品検査室で検査に使用する化学物質の使用量確認を行い、適正管理を推進します。
6. 環境関連の法令、条例及び受け入れを決めたその他の要求事項を遵守します。
7. 組合員による環境活動を積極的に支援し、持続的発展を可能とする循環型社会構築に向けた社会的活動に広範に取り組みます。
8. 以上の活動を進めるために、職員に対する環境教育と環境コミュニケーションを積極的にすすめます。

この環境方針はおおさかパルコープの内外に公開するとともに、環境活動の取り組みの状況について定期的に公表します。

2001 年 7 月 21 日制定  
2020 年 3 月 10 日改定  
生活協同組合おおさかパルコープ

理事長 所 清司

事業活動にともなう環境負荷を最小限にとどめることに継続的にとりくむために、環境省が定めた環境マネジメントシステム「エコアクション 21」を活用しています。



毎年、資格を持った外部審査人の審査を受けます。2020 年度も 2021 年 4 月 7 日から 3 日間、各事業所の審査を受けました。環境へのとりくみが評価され「適合」の結果でした。

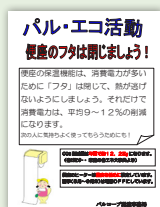
# 2020年度 主な環境目標の実績と評価



事業所や部署ごとに、2020年度は26項目の目標をたてました。そのうち、22項目は目標を達成したり、実施することができましたが、4項目は目標達成できませんでした。毎年、目標の見直しを行いながらとりくみを継続します。

## 活動と評価

### 電気使用量



前年対比  
**100.6%**



コロナ禍の中、支所では事務所の分散運営を行い、電灯と空調の使用量が増えたため、増加しました。

### ガス使用量



前年対比  
**108.3%**

枚方コールセンターのガス空調の使用が始まり、また、京橋事務所でのガス空調の使用も増えたため、増加しました。

### 水道使用量



前年対比  
**97.6%**



支所の熱中症対策のミスト散布の時間管理の強化や、2020年5月より店舗の営業時間が1時間短縮となったため、減少しました。

### ハート栽培 農産物の 取り扱い



**105品目の認証と  
152件の  
お届け前検査**

ハート栽培農産物の実態把握を産地点検・農薬検査などで実施しています。環境に優しい農業生産の推進は、産地の環境保全にもつながるとりくみです。

### 食品ロス削減のとりくみ

1. 調理に使った食用油
2. 魚のアラ
3. 畜産品の脂
4. 野菜くずや消費・賞味期限の切れた食品



**約326トン**

2020年4月から星ヶ丘店も、野菜くずや、消費・賞味期限の切れた食品の回収を開始しました。食品ロス削減のとりくみをすすめています。

### 車両燃料使用量の削減

燃料使用量  
前年対比 **105%**

車両台数  
前年対比 **107%**

車両保有台数は前年対比107%と増えていますが、車両燃料使用量は前年対比105%と削減できています。



エコドライブの実施  
エコドライブセルフチェックを実施

#### エコドライブ

車両燃料やCO<sub>2</sub>等の排気ガスの排出削減ができます。

制限速度を守り、急発進、急ブレーキなど「急」のつく運転はしない。駐車時はアイドリングストップなど環境に配慮した運転をする。等



安全運転

年間で1回、自らの運転状況を見直し、安全運転に努めるためにセルフチェックを実施しています。車両燃料使用量削減のために「シートベルトを締めてからエンジンスタート」も合言葉です。



# 地球温暖化防止のためCO<sub>2</sub> 排出量削減の とりくみをすすめています

2020年度のCO<sub>2</sub>排出量は12,409トンになりました。前年対比で104.3%となり、総量では増加しています。新型コロナウイルスの影響で事業伸長したことで、電気などの使用量は増えましたが、原単位\*では20.1トンから19.0トンに減少しました。

※原単位：CO<sub>2</sub>排出量を供給金額で割り算して、CO<sub>2</sub>排出量を算出し、削減にとりくむ方式です。

毎年、設備改善と運用管理の強化でCO<sub>2</sub>排出量の削減にとりくんでいます。多くのCO<sub>2</sub>を排出する事業者の社会的責任として、これからも削減のとりくみを積極的にすすめていきます。

日本生活協同組合連合会ではCO<sub>2</sub>排出量の総量削減をすすめるために、全国の生協と協力して「温室効果ガス総量削減計画」をすすめています。2020年度に、「生協全体のCO<sub>2</sub>排出量を、2005年度対比で15%削減」を目標としています。

また、新たな目標として「2030年度に、生協全体のCO<sub>2</sub>排出量を、2013年度対比で40%削減」を目標としています。

パルコープでもデータを提供し、CO<sub>2</sub>排出量の総量削減のとりくみをすすめています。

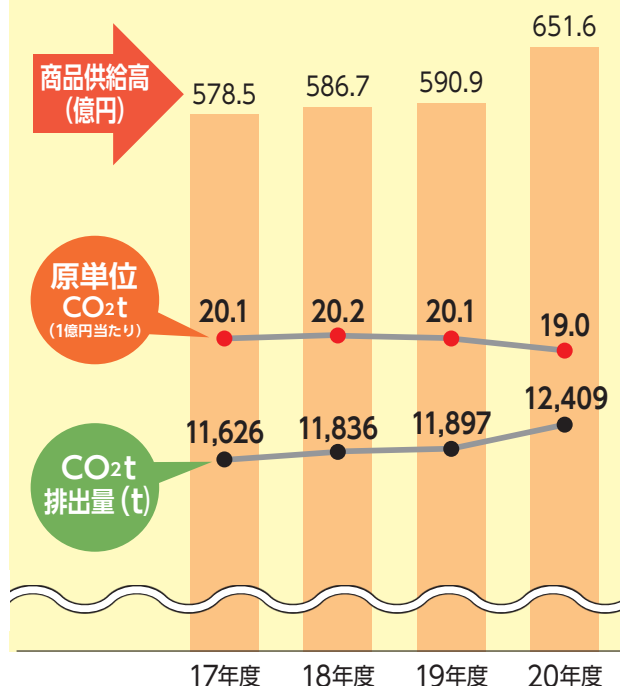
全国生協のCO<sub>2</sub>排出総量削減目標

2030年度に2013年度比で**40%削減**

## CO<sub>2</sub> 排出量の抑制 経年の推移と評価

電気使用CO<sub>2</sub>排出係数：0.423kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
(日本生協連、全国統一CO<sub>2</sub>排出係数)

2020年度  
パルコープの  
CO<sub>2</sub>排出総量  
**12,409**  
トン



## 全事業所で省エネにとりくんでいます



### 共同購入・各事業所でのとりくみ

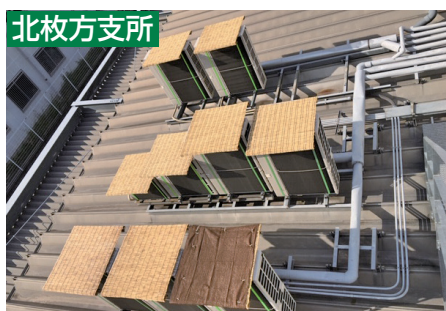
#### 2020年10月開所：パル寝屋川福祉センター

寝屋川市高宮あさひ丘から寝屋川市本町に、パル寝屋川福祉センターを移設しました。

使いやすさと安全性に配慮しながら、設備全体ではペアガラス設置による断熱効果の向上など、9項目の環境対応を行いました。



#### 2020年度も事業所の空調などの室外機に遮光工事を行いました



北枚方支所



忍ヶ丘店

省エネ診断を受け提案をいただいた事を契機に、毎年、直射日光が長時間当たる店舗・配送センターの室外機に遮光の設備を設置しています。2020年度は7ヶ所に設置しました。電力使用量で10%の削減効果があるとされています。

遮光設備の  
設置で  
電力使用量  
**10%**削減  
効果

## 店舗でのとりくみ

### 食品リサイクルのとりくみ

店舗で実施している食品リサイクル※は、2020年4月から2021年3月までで約142トンが京都府のリサイクル工場に運ばれて飼料になりました。

また、畜産品の脂は、リサイクルするとりくみを全店で行い、3月までに約30トンが徳島県のリサイクル工場へ運ばれ、飼料原料になりました。

※食品リサイクル：お店で出る賞味期限が切れた商品や野菜くずなどを、飼料原料に加工し再利用するとりくみです。



店では細かく分けて出す作業をしています。

食品のリサイクル  
約**142**トン

完成した飼料原料



## 太陽光発電設備について

再生可能エネルギーはCO<sub>2</sub>の排出量を大幅に削減し、日本のエネルギー自給率を上げることにつながります。

現在、パルコプでは(株)おおさか協同物流センター（655kW）を含めて785kWの太陽光発電が稼動しています。年間発電量は合計711,308kWhになり、CO<sub>2</sub>の排出量で250トンの削減につながっています。

|         |         |        |
|---------|---------|--------|
| 太陽光発電設備 | 北枚方支所   | 50kW   |
|         | 寝屋川支所   | 50kW   |
|         | 港支所     | 30kW   |
|         | (物流センター | 655kW) |

(株)おおさか協同物流センター



北枚方支所



寝屋川支所



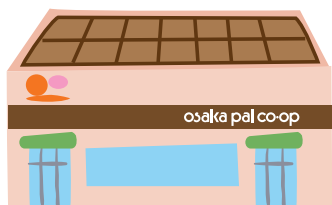
港支所



年間発電量  
**711,308**  
kWh

CO<sub>2</sub> 排出量の  
削減効果  
**250**  
トン分

(電気使用 CO<sub>2</sub> 排出係数：0.352kg - CO<sub>2</sub>/kWh)





# 生産から消費まで、環境に配慮した商品の取り扱いをすすめています

うなぎの蒲焼でおなじみの

## 川口水産のとりくみ



弊社では、おいしい「うなぎ蒲焼」を作り、保管するために、たくさんの火力・電力が必要となります。

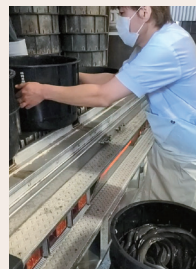
そこで、社屋の屋根に、太陽光パネルを設置。年間68,000kWhを発電。使用する電気量の10%弱をまかなっています。

さらに商品を保管する冷凍庫内には専用の省エネ機器を設置し、霜取り回数を減らすことで電気使用量削減に努め、2018年より重油ボイラーからガスボイラーに切替をし、CO<sub>2</sub>削減にも努めています。



色々な産地からその時期の上質な活鰻を仕入れますが、入荷量が少ないと、段ボール梱包での納品となり余分な包材になります。

それを防ぐため、一回の入荷量を増やし、繰り返し使用できるバックカン（専用ケース）での輸送を積極的に行っています。さらに段ボール梱包での納品がメインの活鰻問屋にもトラックを手配し、同様に輸送しています。



バックカン（専用ケース）

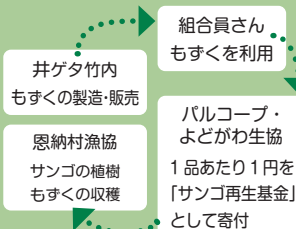
## もずくを食べてサンゴが育つ海づくり サンゴ再生もずく基金

サンゴ



今年度植樹  
約82本

### サンゴ再生もずく基金



～サンゴ再生もずく基金～

### 「恩納村産 もずく」



産地、メーカー、生協、組合員が手をつなぎ、もずくの育つ里海を守るとりくみです。

2020年度の恩納村漁協のもずく収穫量は、1,004トンでした。

パルコープ分のサンゴの植え付け本数は82本、2013年度からの累計で634本となりました。



## 耕作放棄地再生活動 in 紀の川市北長田

2019年1月からとりくんでいる耕作放棄地再生活動は、環境内部監査員のメンバーを中心に、紀の川市北長田地区にある耕作放棄地（柿や桃の生産地でした）でレモンを栽培することを目的に作業を継続しています。2020年度は新型コロナウイルスの影響で6回だけの訪問となりましたが、玉ねぎの収穫なども手伝いました。

2019年4月に定植したレモンの苗に加えて、2020年4月には新たに20本の定植を行いました。収穫は予定より遅れていますが、順調に出荷ができるように作業を継続していきます。



## 3Rで資源の有効活用をすすめています

2020年7月1日からレジ袋が有料化され、環境省での調査では2020年3月時点でレジ袋を使わなかった人が30.4%だったのが、11月には71.9%になりました。パルコプの店舗では現在90.7%の方がレジ袋を使わず、マイバッグ持参にとりくんでいただいています。

2021年1月から順次、レジ袋をバイオマス※25%使用の袋へ変更し、再生利用可能な有機物の構成を高めています。なお、マイバッグ持参をすすめるために有料（1枚5円）での提供は継続しています。組合員みなさんには、引き続きご協力をお願いします。

また、牛乳パックやトレーなどは回収・再資源化しやすいよう、洗う・開く・乾かす・つぶす・重ねるなど、それぞれの回収方法を守り、リサイクルのご協力も引き続きお願いします。

※バイオマス：動植物から生まれた再利用可能な有機性（石油などの化学燃料を除く）の資源のことです。



- 事業活動に伴って排出される容器包装のリサイクルにとりくんでいます。捨てればゴミに、分別して出せば資源です。
- 共同購入で使われている商品案内（カタログ）は、古紙原料としてリサイクルされています。組合員さんが配布内容を選択できることから、配布重量も回収量も減りましたが、2020年度は4,498トンの回収、再資源化につながりました。



| リサイクル品2020年度回収量 |              | 回収量              |
|-----------------|--------------|------------------|
| 商品案内            |              | 4,498t           |
| 共同購入            | 紙飲料パック       | 77,930kg         |
|                 | 卵パック         | 37,000kg         |
|                 | 仕分け袋         | 37,090kg         |
| 店 舗             | 紙飲料パック       | 19,220kg         |
|                 | 卵パック         | 11,140kg         |
|                 | ペットボトル       | 28,400kg         |
|                 | ビン           | 54,490kg         |
|                 | 缶            | 7,760kg          |
|                 | 食品トレー        | 45,430kg         |
|                 | 乾電池類         | 2,216kg          |
| 共同購入+店舗         | 蛍光灯管(大阪市内)   | 5,351本           |
|                 | 発泡スチロールダンボール | 25,340kg<br>824t |

マイバッグの持参率は90.7%となりました。レジ袋は約560万枚削減されていることとなります。毎年多くの新しい組合員さんを迎えるなか、マイバッグ持参運動を地道に続けていることが高い持参率の維持につながっています。

- 全店舗で「魚のアラ」をリサイクルしています。

岸和田市にある小島養殖漁業生産組合で魚粉と魚油を製造。飼料などに使われています。

1年間で **135トン**ほどがリサイクルされています。



- 店舗で調理に使ったあとの廃油は、2020年度も全店舗合計で約20,000リットル(200リットルドラム缶100本)のバイオディーゼル燃料にリサイクルされています。



**FOOD BANK**  
KANSAI  
HOME

- 物流センターではフードバンク※活動への商品提供を行っています。フードバンク関西へは3週間に1回のペースで、2020年度は関西の123団体の福祉施設に、4,836kgの提供を行いました。
- 「パルコプこども食堂フードバンク」では、エリア内の58団体63ヶ所の子ども食堂と3つのシングルマザー支援団体（2021年3月現在）に食材をお届けしています。

※フードバンクとは、包装の傷みなどで、品質に問題がないにもかかわらず市場で流通出来なくなるなど、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、必要としている人や団体に無償で提供する活動です。

# 1日エコライフ

私たちの暮らしの中から二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）をなるべく出さないことが、地球温暖化防止につながります。

エアコンの温度管理や買物袋の持参、ゴミの分別やリサイクル、車は使わず徒歩での外出など、毎日の暮らしの中で環境を守るとりくみにつながることはたくさんあります。

組合員さんには毎年、OCR アンケートなどを通じて、身近にできることにチャレンジしていただいています。

今回参加人数  
**2,978名**  
(組合員+職員)  
CO<sub>2</sub>削減量  
約**1,280kg**



ユープ  
みんなでエコ!

## 1日エコチャレンジでいただいた感想・メッセージを紹介します

冷蔵庫の  
開閉時間を短くする。  
普段から行っていること  
ばかりだったので、苦には  
ならず行いうことが  
できました。

なるべく皆  
同じ部屋で過ごして、  
エアコンの使用量を  
減らしました。家で  
過ごす事が増える夏に  
なりそうなので、これを  
頑張ろうと思います。

エアコンフィルターは  
こまめに洗います。  
省エネ生活に変えてから  
電気代も安く  
なっています。

エコは気持ち  
良いです。

いつも節電を  
心がけていますが、  
CO<sub>2</sub>がこれほど削減  
できるなら、これからも  
心がけて行きたいと  
思います。

CO<sub>2</sub>が増えることで、  
ますます夏が暑くなったりする  
可能性があるので、  
頑張っていこうと思います。

毎年実施している  
ことですが、  
冷蔵庫内に  
エアーカーテンを  
付けています。

28℃設定でも、  
扇風機を併用すると  
涼しいのだということ  
を実感しました。

エアコン使用時に  
扇風機などを併用する  
ことで、使うエアコンの  
台数を減らすことができ、  
家計にも優しい。

少し「エコ」を  
意識し生活に  
取り入れるだけで、  
二酸化炭素の削減に  
つながることがあかり  
驚きました。

早寝、早起き、  
早朝から家の清掃、  
ホースで水をまいて、  
扇風機で半日  
過ごしました。



# 地域や行政とともに



## 2020年8月3日 打ち水大作戦

枚方市の地球温暖化対策協議会からの要請を受け、8月3日に全店で「打ち水大作戦」にとりくみました。来店のお客様さんにも参加していただきました。



星ヶ丘店



枚方公園店

## 家庭の容器包装プラごみ・使い捨てプラごみ調べ

全大阪消費者団体連絡会などの呼びかけでとりくまれた「家庭の容器包装プラごみ・使い捨てプラごみ調べ」にパルコから188名の組合員さんが参加しました。

参加いただいた組合員さんからは「ゴミの大部分はプラごみと改めて認識しました」「多く使っているラップはシリコンふたや、ふた付の容器で減らせるといった」などの感想をいただきました。

軽くて丈夫で衛生的など、良い点もあるプラスチックですが、燃やせばCO<sub>2</sub>、放置すればマイクロプラスチック汚染など環境への影響を知るきっかけになりました。



## 省エネチャレンジノート

地球温暖化防止に身近なところからとりくむ特定非営利活動法人地球環境市民会議（CASA）発行の「省エネチャレンジノート」には、2か月版25名、1週間版12名、こども版3名が参加しました。

参加の組合員さんからは「子どもたちと今回の結果を見て、省エネについて話しあって改善していきます」「日々の小さなチャレンジが実を結ぶことを実感できる良いとりくみ」などの声が寄せられました。



# OSAKA PALCOOP ECO REPORT 2021

**リアルに協同発電しよ・なご**  
NPO法人 リアルにブルーアースおおさか

みんなの力で  
つくりました

一般家庭の年間消費電力の  
約5軒分を発電しています

太陽光発電所  
只今の発電電力  
15.2 kW

のべ270名の協力による  
市民共同発電所です

2014年1月29日 売電スタート

パルコプの組合員さんの中から「自分たちで協同発電所を作ろう」と立ち上がった NPO 法人「リアルにブルーアースおおさか」。2014 年 1 月にながお店の屋根に設置された 20kW の太陽光発電設備は 1 年間の発電量は 21,697kWh となり、これは一般家庭が 1 年間に使用されている電力量（約 3,600kWh）で換算すると 6 軒分に相当します。火力発電で発電した場合と比べて 14,604kg の CO<sub>2</sub> 排出を削減できました。

なごお店屋根 太陽光発電設備

北枚方支所屋根 太陽光発電設備

## おおさかパルコプ 概要

2021 年 3 月 20 日現在

名 称 生活協同組合おおさかパルコプ  
設 立 1991 年 3 月 2 日  
職 員 数 フル職員1,018人、属託職員69人、パート職員1,711人  
供 給 高 651 億円  
組合員数 44.8 万人

共同購入支所数 13 力所  
店 舗 数 9 店舗  
組 合 員 会 館 4 力所  
組 合 員 集 会 室 13 力所

**生活協同組合 おおさかパルコプ**  
大阪市都島区東野田町 1-5-26  
<https://www.palcoop.or.jp/>

2021 年 5 月発行